

2 けがの防止 (教科書P. 14~29) 【配当時間：4時間】

～5年『けがの防止』の取り扱いについて～

新学習指導要領の趣旨に則り、教育課程を編成し、学校教育活動を実施するにあたって、学校現場や社会情勢などの状況を踏まえ、今後想定される新型コロナウイルス感染症の第2波の危険性など、緊急の場合に適切に対応することが求められます。これから実施される感染症予防対策等で、変化する社会環境や児童の学校や家での安全な過ごし方等を充実させるために、5年生の“けがの防止”の単元も、大変重要な学習と考えられます。また、指導計画通りの体育実技授業の実施が困難な場合などは、保健授業を先に実施する等、柔軟かつ臨機応変な対応をとることも考えられます。その際、『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2020.5.22Ver.1) [文部科学省]』を参考にし、感染症対策を十分に行った上で、授業を実施することが必要です。

～学習活動の場と授業時間数について～

分類	学習活動の場	時間数
A	学校の授業で取り上げることが必要であると考えられる教材・学習活動	3
B	学校の授業で取り上げることが望ましいが、学校の授業以外の場での学習が可能であると考えられる教材・学習活動	1

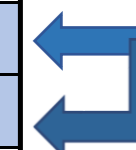
※分類A, Bともに、児童があらかじめ自宅等で知識の習得を図った上で実施し、話し合い活動等につなげることもできる。

※特例的な対応として、年度当初予定していた内容の指導を本年度中に終えることが困難な場合は、一部内容を次年度以降に移して指導することもできる。その際は、教員間の引継ぎを徹底する等、遺漏のないように配慮する。

～指導順序について～

内容のまとめり (学習指導要領)	単元計画 配当時間	分類	学習内容
交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止	第1時	A	※ 学習への動機付け 1 学校生活でのけがの防止
	第2時	A・B	2 交通事故の防止
	第3時	A・B	3 地域での安全
けがの手当	第4時	A	4 けがの手当て
			☆ わたしの安全せん言

●第2時と第3時は入れ替え可。



※感染症対策の観点から、指導順序を変更する必要がある学習活動は特にはないと考えられるが、第2時と第3時は状況に応じて入れ替えて実施することもできる。

※新型コロナウイルス感染症予防に関する指導は、授業時間の確保が難しい場合も含め、「保健」の授業時間以外のあらゆる場面を通して指導することが考えられる。その際、文部科学省作成の『新型コロナウイルス感染症の予防』 (https://www.mext.go.jp/content/2020501-mext_kenshoku-000006975_5.pdf) を参考にするとよい。

～学習指導要領の内容～

けがの防止について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当てをすること。

●交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。

●けがなどの簡単な手当ては、速やかに行う必要があること。

イ けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現すること。

～単元の目標～

ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等	ウ 学びに向かう力、人間性等
<p>・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であることについて理解することができるようにする。</p> <p>・けがなどの簡単な手当ては、速やかに行うことが必要であることについて理解することができるとともに、自らできる簡単な手当てなどの技能を身に付けることができるようにする。</p>	<p>けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現することができるようにする。</p>	<p>けがの防止について、健康や安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組むことができるようにする。</p>

～単元の評価規準～

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であることを理解している。</p> <p>・けがなどの簡単な手当ては、速やかに行う必要があることを理解しているとともに、技能を身に付けている。</p>	<p>けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。</p>	<p>健康や安全の大切さに気付き、けがの防止についての学習に進んで取り組もうとしている。</p>

～各時間の学習活動，評価規準の設定例～

時 [分類]	学習内容	教科書 ページ	学習活動 (※1)	時間 の 目安	評価規準の設定例			評価の 方法例 (※2)		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度			
第1時 [A]	※ 学習への動機付け	P.14	<p>【単元の目標】</p> <p>学校や家庭，地域では，事故などによるけがが起きています。どのようにすれば防ぐことができるのだろう。</p>	5分	<p>学校生活でのけがの防止について，</p> <p>・事故が発生していることや，それらが原因となるけがなどは，人の行動や環境が関わっていること，</p> <p>・それらを防止するためには，周囲の状況をよく見極め，危険に早く気付いて，的確な判断の下に安全に行動することが必要であること，</p> <p>・安全な環境をつくる必要があること，</p> <p>について，理解したことを言ったり，書いたりしている。</p>	<p>けがの防止について，学校生活の危険が原因となって起こるけがと，その防止から課題を見付けている。</p>	<p>けがの防止について，課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習や教科書や資料などを調べたり，自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>●発言</p> <p>●話し合い</p> <p>●ワークシート①</p> <p>●【教】P.15, 17への記入</p>		
	1 学校生活でのけがの防止	P.15～17	<p>【本時の目標】</p> <p>学校生活でのけがは，どのようにすれば防ぐことができるのだろう。</p>						<p>1 教科書の絵の場面で，危ないと思う人や場所に△をつける。</p>	10分
			<p>2 けがは，どのような原因で起きているのか，話し合う。</p>							15分
			<p>3 けがは，どんな時間にどんな場所で多いのか，話し合う。</p>							10分
			<p>【新しい自分にレベルアップ】</p> <p>4 調理実習をしている場面を思い浮かべ，自分ならどうするか，考える。</p>							5分
第2時 [A・B]	2 交通事故の防止	P.18～20	<p>【本時の目標】</p> <p>交通事故は，どのようにすれば防ぐことができるのだろう。</p>	<p>1 交通事故は，どのような原因で起きているのか，話し合う。</p>	20分 [A]	<p>交通事故の防止について，</p> <p>・毎年多くの交通事故が発生し，けがをする人や死亡する人が少なくないことや，それらが原因となるけがなどは，人の行動や環境が関わっていること，</p> <p>・それらを防止するためには，周囲の状況をよく見極め，危険に早く気付いて，的確な判断の下に安全に行動することが必要であること，</p> <p>・安全な環境をつくる必要があること，</p> <p>について，理解したことを言ったり，書いたりしている。</p>	<p>けがの防止について，交通事故が原因となって起こるけがと，その防止から課題を見付けている。</p>	<p>●発言</p> <p>●話し合い</p> <p>●ワークシート②</p> <p>●【教】P.20への記入</p>		
			<p>2 交通事故を防ぐために，どのような取り組みが行われているのか，調べる。</p>		20分 [B]					
			<p>【新しい自分にレベルアップ】</p> <p>3 交差点の場面を思い浮かべ，自分ならどうするか，考える。</p>		5分 [A]					

第3時 [A・B]	3 地域での安全	P.21～23	<p>【本時の目標】 地域で安全に過ごすためには、どのようにすればよいのだろう。</p>	<p>地域での安全について、 ・毎年多くの水の事故が発生し、けがをする人や死亡する人が少なくないことや、犯罪被害が発生していること、それらが原因となっていること、 けがの防止について、身の回りの生活の危険が原因となつて起こるけがと、その防止から課題を見付けている。</p>	<p>けがを防止するために、自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして、危険の予測や回避の方法を考えたり、選んだりしている。また、その方法を選んだ理由をワークシートなどに書いて、発表したりして友達に伝えている。</p>	<p>けがの防止について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習や教科書や資料などを調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>●発言 ●話し合い ●ワークシート③ ●【教】 P.23への記入</p>
			1 水の事故を防ぐためには、どのようにすればよいのか、話し合う。	15分 [A]			
			2 犯罪被害を防ぐためには、どのようにすればよいのか、話し合う。	15分 [A]			
			3 水の事故や犯罪被害から守るために、どのような取り組みが行われているのか、調べる。	10分 [B]			
			<p>【新しい自分にレベルアップ】 4 知らない人が、あとをつけてきている場面を思い浮かべ、自分ならどうするか、考える。</p>	5分 [B]			
第4時 [A]	4 けがの手当て	P.24, 25	<p>【本時の目標】 けがをしたときには、どのように手当てをすればよいのだろう。</p>	<p>・けがをしたときには、けがの悪化を防ぐ対処として、けがの種類や程度などの状況をできるだけ速やかに把握して処置すること、近くの大人に知らせることが大切であること、また、自らできる簡単な手当てには、いろいろな方法があることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。 ・傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなど、自らできる簡単な手当てについて、理解したことを言ったり書いたりしていると、それらの対処ができています。</p>	<p>けがの防止について、けがの手当ての仕方から課題を見付けている。</p>	<p>けがを防止するために、自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして、危険の予測や回避の方法、けがなどの適切な手当ての方法を考えたり、選んだりしている。また、その方法を選んだ理由をワークシートなどに書いたり、発表したりして友達に伝えている。</p>	<p>●発言 ●話し合い ●ワークシート④ ●実習</p>
			1 けがをしたときには、どのように判断すればよいのか、調べる。	15分			
		2 自分でできる、かん単な手当てをする。	20分				
	☆ わたしの安全せん言	P.26	<p>【安全せん言をして、自分の身を守ろう!!】 ☆ 単元全体をふり返り、これからの生活に役立てたいことを宣言し、話し合ったり、理由を記入して発表したりする。</p>	<p>・けがの防止について理解している。 ・けがなどの簡単な手当ては速やかに行うことが必要であることについて理解しているとともに、自らできる簡単な手当てなどの技能を身に付けている。</p>	<p>けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現している。</p>	<p>けがの防止について、健康や安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組んでいる。</p>	<p>●発言 ●話し合い ●【教】 P.26への記入</p>

※1 Bの活動で学習する場合、話し合ったり発表したりする活動については、シミュレーションにて対応することもできる。

※2 Bの活動で学習する場合、発言・話し合いについては、シミュレーションにて対応することもできる。